

機加工電放

中古販売に1年保証

サンエス 安心感提供で差別化

【立川】サンエス(東京都八王子市、藤村精一社長、042・623・2871)は、中古の放電加工機に1年間の保証をつけて3月から販売する。保証制度は中古機販売業界では珍しく、中古機に不安を抱く顧客に安心感を提供する。景気低迷で投資マインドが冷え

込む中、優良な中古機の引き合いは根強いという。保証で他社と差別化し、年約30台の販売実績を40台に増やしていく。サンエスは国内での設置を条件に、1年間保証する。通常の使用で故障した場合、交換部品と交

責任で修理する。同社は従来、仕入れた中古機をオーバーホール(分解による点検・修理)して販売。さらに出荷前の性能確認では、顧客立ち会いで検査し納品する販売モデルを築いてきた。故障の確率は低レベルに収まっており、制度適用上のリスクは吸収

可能と見て踏み切る。放電加工機は水を使用して加工するため、中古市場に出回る機械は傷みのあるものが少なくないといわれる。

オーバーホールや修理には知識と技術が必要になるが、サンエスはジャパックス製品のメンテナンスを引き受けておりノウハウを持つ。